

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	PCスキル I	担当名	(株)ブレンスタッフコンサルタンツ
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	・ビジネスマナーに沿って、正しくメールを作成送信できる ・Wordでビジネス文章を作成できる ・Excelを利用した、表計算や表、グラフの作成ができる ・自身のタイピングスキルを理解し、向上できる（毎回講義内で練習）				
学習内容	滋慶学園グループの企業である(株)ブレンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	e-learning(インターネット上のテキスト)とPC、Office2019を使用 ※Office365 ライセンスの使用も可能				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	講座を受講する意義を理解し、IT/DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる	e-learning CCT入門コース (IT/DXリテラシー)	授業内容に応じて、自宅学習
2	Teams・OneDriveなどクラウドの特徴を理解し活用できる	e-learning CCT入門コース (PCクラウド活用)	授業内容に応じて、自宅学習
3	ファイルの管理、タイピングなどPCの基本操作ができる	e-learning CCT入門コース (PC基本操作)	授業内容に応じて、自宅学習
4	マナーを守ったメールを作成・送信できる	e-learning特別講義コース (メールマナー)	授業内容に応じて、自宅学習
5	Excelの基本を学び講義で必要な操作ができる	e-learningExcelコース (Excel入門)	授業内容に応じて、自宅学習
6	Wordの基本を学び講義で必要な操作ができる	e-learning Wordコース (Word入門)	授業内容に応じて、自宅学習
7	文書作成ソフトを使って効率的にビジネス文書を作成できる	e-learning Wordコース (Word基礎1)	授業内容に応じて、自宅学習
8	画像や図形を駆使した、社会人レベルの文書を作成できる	e-learning Wordコース (Word基礎2)	授業内容に応じて、自宅学習
9	表を駆使した社会人レベルの文書を作成できる	e-learning Wordコース (Word基礎3)	授業内容に応じて、自宅学習
10	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	e-learning Excelコース (Excel基礎1)	授業内容に応じて、自宅学習
11	Excelの基本操作をスムーズに行えるよう練習する	e-learning Excelコース (Excel基礎1トレーニング)	授業内容に応じて、自宅学習
12	関数やグラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース (Excel基礎2)	授業内容に応じて、自宅学習
13	グラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース (Excel基礎3)	授業内容に応じて、自宅学習
14	Excel基礎1,2,3の内容を繰り返し練習して習得する	e-learning 試験対策コース (Excel試験対策)	授業内容に応じて、自宅学習
15	Excel定期試験	e-learning 試験コース (Excel)	総復習をおこない試験に備える

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	PCスキルⅡ	担当名	(株)ブレースタッフコンサルタンツ
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	・自身のタイピングスキルを理解し、向上できる ・Excelで関数を使用した計算や、グラフ作成ができる ・生成AIと組み合わせてCanvaやPowerPointスライドを作成できる ・情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる				
学習内容	滋慶学園グループの企業である(株)ブレースタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。 学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	e-learning(インターネット上のテキスト)とPC、Office2021・2024を使用 ※Office365 ライセンスの使用も可能				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	タイピング AIリテラシー	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
2	タイピング Gemini Storybook作成	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
3	タイピング 画像生成AI活用	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
4	タイピング ショート動画作成:生成AIと組み合わせた動画作成	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
5	タイピング Canva作成:好きなものを紹介する	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
6	タイピング PowerPointダイジェスト:基本操作	e-learning PowerPointコース	授業内容に応じて、 自宅学習
7	タイピング PowerPointアドバンス:図解・SmartArtグラフィック	e-learning PowerPointコース	授業内容に応じて、 自宅学習
8	タイピング Excel入門:書式設定・表作成	e-learning Excelコース	授業内容に応じて、 自宅学習
9	タイピング Excelダイジェスト:基本操作	e-learning Excelコース	授業内容に応じて、 自宅学習
10	タイピング データリテラシー	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
11	タイピング 情報倫理1:個人情報/モバイル機器/メール編	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
12	タイピング 情報倫理2:著作権/ネット編	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
13	タイピング 情報倫理3: SNS/クラウド編	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
14	タイピング SNSセキュリティ	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
15	定期試験	e-learning 試験コース	

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	コミュニケーションスキルアップ
		講義	演習・実技・実習
		担当名	石田智子
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	コミュニケーションスキルアップ検定に合格する。社会に通用するコミュニケーション力を身につけるために、効果的なコミュニケーション方法を体系的に理解する。
学習内容	接客サービスの現場経験をもつ講師が、接客現場での実体験を交えた講義を行う。社会の一員として必要なコミュニケーションを自ら考え行動できる人材育成を目指すため、体験参加型の授業を行うので、積極的に参加すること。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	コミュニケーションスキルアップ検定テキスト・筆記用具一式・パソコン一式を毎回必ず持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	科目オリエンテーション 1章コミュニケーションとは	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
2	2章 基本的対話スキル①1対1の会話	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
3	2章 基本的対話スキル②質問の種類	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
4	2章 基本的対話スキル③グループの会話	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
5	3章 自己表現スキル①挨拶と自己紹介	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
6	3章 自己表現スキル②自己主張のパターン	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
7	3章 自己表現スキル③プレゼンテーションの基本	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
8	3章 自己表現スキル④アンガーマネジメント	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
9	4章 社会的スキル①基本的な社会的スキル	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
10	4章 社会的スキル②敬語・電話応対	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
11	4章 社会的スキル③接客	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
12	4章 社会的スキル④文書作成	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
13	5章 サービスマインド①サービスマインドとは	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
14	5章 サービスマインド②サービスの基本要素	CSU検定対策テキスト	テキスト項目確認
15	定期試験実施		

対象学科	総合ウェディング科	
対象学年	1 学年	科目名
		ブライダル概論Ⅰ
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
	担当名	中村 恵理
	単位/時間数	2単位 30時間

到達目標	ブライダルの基本的な用語を理解し、歴史・慣習・儀式・実務の基礎を学び、結婚及び結婚式について全体像を理解する。
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、現在の結婚式スタイルなどの話も交えながら、婚礼に携わる物として最低限の知識の定着を図る。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	結婚式のスタイルは多様化してきているので、その背景となる歴史や慣習などについて知り、1年時の終わりに受ける検定に合格する基礎知識をつけること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダル業界のイメージ、現状 新郎新婦の気持ちを知る	筆記用具	
2	ブライダルビジネスとは	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
3	ブライダルの基礎知識① 見合い、婚約、結納について	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
4	ブライダルの基礎知識② 挙式スタイルについて	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
5	人前式の基本的な進行と注意点	筆記用具 配布資料(パソコン使用)	
6	ブライダルの基礎知識③ 披露宴、2次会について	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
7	基本的な演出アイテムの特徴と所要時間	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
8	進行表の役割、見方	筆記用具 配布資料(パソコン使用)	
9	結婚の定義 日本及び欧米の結婚式の歴史と文化	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
10	ブライダルアイテム① ドレスコード、衣装(洋装)	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
11	ブライダルアイテム② 衣装(和装、列席衣装)ブーケ、ヘアメイク	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
12	ブライダルアイテム③ 会場コーディネート、ペーパーアイテム	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
13	ブライダルアイテム④ 料理・飲物、写真・映像商品	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
14	ブライダルアイテム⑤ 引出物、引菓子、その他アイテム	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ブライダル概論Ⅱ
		担当名	中村 恵理
		単位/時間数	2単位 30時間
		講義・演習・実技・実習	

到達目標	前期で学んだ知識を実践形式に落とし込みながら基礎知識を定着させ、アソシエイトブライダルコーディネーター検定に合格する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、現在の結婚式スタイルなどの話も交えながら、実際に接客する自分の姿をしっかりとイメージできるように演習を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	前期で学んだ概要を復習しながら、知識をどうやって実務に活かすかを考えること わからないことは自ら積極的に質問をする習慣をつけること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	コーディネーター業務 新規接客と打合せ業務の違い	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
2	課題対応	テキスト	
3	新規接客(演習)カウンセリング～会場案内	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
4	新規接客(演習)見積り・空き状況・クロージング	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
5	新規接客(演習)成約手続き	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
6	打合せ業務(演習)初回打合せ	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
7	打合せ業務(演習)中間打合せ①	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
8	打合せ業務(演習)中間打合せ②	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
9	打合せ業務(演習)最終打合せ	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
10	婚礼当日業務とは	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
11	アソシエイトブライダルコーディネーター検定の概要 出題スタイルについて、問題実例	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
12	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
13	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
14	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
15	定期試験(ASS検定)	筆記用具	

到達目標	ブライダル業界に適した 清潔感・信頼感・文化適応力のあるセルフヘア＆メイク習得
学習内容	ブライダル業界の就職活動および現場に適した、 「清潔感・再現性・スピード」を兼ね備えたセルフヘア＆メイクの習得する授業を行う
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	チームスにて共有資料・PDF資料など

日程	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	印象設計と基礎づくりテーマ ヘア・シニヨン基礎手順 メイク・ベースメイク(清潔感・均一肌) ・眉の基本設計(信頼感)	PDF資料	
3,4	ニヨン基礎×ナチュラルメイク ヘア・低めシニヨン(基本形) ・崩れないピン打ち徹底 メイク・面接向けナチュラルメイク	PDF資料	
5,6	シニヨン安定化×印象コントロールメイク ヘア・シニヨンの再現性UP メイク・目元調整(優しい・しっかりの使い分け) ・チーク&リップで印象操作	PDF資料	
7,8	就活フルスタイル完成 ヘア・シニヨン完成度UP(面・バランス) ・前髪・顔周りの作り込み メイク・フルメイク完成(面接対応)	PDF資料	
9,10	業界別スタイル対応 ヘア・夜会手順 メイク・業界別メイク調整 (ホテル・式場・美容系)	PDF資料	
11,12	夜会スタイル基礎×フォーマルメイク ヘア・夜会巻きの基本構造 メイク ・フォーマル対応メイク(上品・大人・きちんと感)	PDF資料	
13,14	夜会完成×完成度アップメイク ヘア・夜会スタイル仕上げ メイク・バランス調整(全体の完成度UP) ・写真・対面での見え方調整	PDF資料	
15	総合実技試験(就活シミュレーション)		

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ゲストハウスウェディングI	担当名	岡 寛子
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ゲストハウスウェディングの基礎知識・打合せ・実務の講義を通して、ウェディングプランナーとしての基礎力と心構えを磨く。 前半ではゲストハウスを中心にウェディング全般の幅広い知識を身に着ける。 後半ではより現場的なロープレなどを行い実践力を身に着ける。
学習内容	婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション ゲストハウスウェディングについて	筆記用具、PC	—
3,4	ゲストハウスの基礎知識: ウェディングスタイル	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
5,6	ゲストハウスウェディングの特徴① ゲストハウス調査ワーク準備	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
7,8	ゲストハウスウェディングの特徴② ゲストハウス調査ワーク発表	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
9,10	ゲストハウスの基礎知識① 業務内容 新規接客	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
11,12	ゲストハウスの基礎知識② 業務内容 プランニング	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
13,14	ゲストハウスの基礎知識③ 業務内容 婚礼当日	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ゲストハウスウェディングII	担当名	岡 覚子
			講義 (演習)・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ゲストハウスウェディングの基礎知識・打合せ・実務の講義を通して、ウェディングプランナーとしての基礎力と心構えを磨く。 前半ではゲストハウスを中心にウェディング全般の幅広い知識を身に着ける。 後半ではより現場的なロープレなどを行い実践力を身に着ける。
学習内容	婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクとワーク準備	筆記用具、PC	なし
3,4	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクワーク発表	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5,6	プランニングワーク 初回打合せ・招待状	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
7,8	プランニングワーク 配席・引出物	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
9,10	プランニングワーク 進行表・演出・サプライズ	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
11,12	進行表・見積・台帳・発注	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
13,14	集客・ブライダルフェア・ウェディングチーム	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ウェディングサービス演習	担当名	田島史雄
			講義 演習 実技 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	1. ウェディングサービスに特化した検定試験「ウェディングサービス検定」に合格する 2. どの施設でもゲストにサービスできるプロフェッショナルを目指す
学習内容	外資系シティホテル及びウェディングも行うフレンチのグランメゾン等でレストランマネージャーとして研鑽を積み、洋食、和食と広くサービスを経験している講師が教科書に沿いながら実際の職場でもすぐにサービス実践できるように指導を心掛ける
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	「宴会サービスの教科書」を持参し、ビジネススーツでの参加を忘れないこと。 *髪型、靴、アクセサリを外す等、接客サービスにふさわしい身だしなみの状態に整える

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	一/接客の基本動作と姿勢/接客用語と言葉遣いの	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
3,4	ス/ボトルによるサービス/ワインの注ぎ方/ワイン料	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
5,6	ビスの心構え/宴会セクションの組織と役割/備品の打	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
7,8	サービスの方法/フードメニュー/ナプキン/テーブル	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
9,10	順とテーブルプラン/エチケットとマナー/プロトコ	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
11,12	宴会サービス業務と手順	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
13,14	式会場が決まるまでの業務、挙式・披露宴サービスの	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
15,16	婚礼サービス1/挙式・披露宴サービスの業務・流れ	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
17,18	婚礼サービス2 挙式・披露宴サービスの流れ(準備)	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
19,20	婚礼サービス3 会場設営/挙式サービスの流れ	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
21,22	結婚式の基礎知識 結婚式とは/挙式のスタイル/関連商品/まとめ1	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
23,24	ユニバーサルマナー 肢体不自由/視覚障害/聴覚・言語/まとめ2	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
25,26	検定対策教科書全範囲復習	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
27,28	検定対策教科書全範囲復習	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
29,30	定期試験(ウェディングサービス検定)	宴会サービスの教科書・筆記用具	検定試験

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ウェディングフォト	担当名	内垣 和
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	ウェディングフォト(婚礼写真)の知識、撮影基礎技術を学ぶことで商品説明ができ、商品別に手順を理解したうえで手配業務ができる。またスマートフォンを使用した撮影・編集ができる				
学習内容	フォトグラファー歴15年、ホテルや式場・ゲストハウスなどで撮影を行う講師がウェディングフォトの基礎知識、撮影技術はもとより、心構えや動きなど現場で使える・役立つ知識を講義する				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	テキスト・ノート・筆記用具・スマートフォン(5・6・7回目のみ)持参すること				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション(授業の目的と内容・授業について) ウェディングフォトとは 接客とは	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO 第1章	
3,4	ウェディングフォトグラファーの業務と必要なスキルについて ウェディングフォトの基礎知識(種類)	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO 第2・3章	
5,6	ウェディングフォト種類(結婚域当日の撮影) スタジオ写真の「親族写真の並べ方」・スナップ写真の撮影	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO 第3・4・5章	
7,8	ウェディングフォト種類(別日の撮影) 前撮り・ロケーションフォト・エンゲージフォト・フォトウェディング	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO 第3・6章	
9,10	写真を撮るためのカメラの基礎用語と知識・構図とアングル スマートフォンの機能とスマートフォンの撮影実践と課題撮影	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO 第3章スマートフォン	
11,12	ウェディングフォトの編集加工テクニック・製本方法	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO 第7章スマートフォン	
13,14	背景と光選び スマートフォンを使用して撮影実践と画像編集	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO 第8章スマートフォン	
15	授業内容振り返り(理解が不十分な部分を明確にし知識の定着を図る) 定期試験(JWSA認定の共通試験)	テキスト:JWSA③WEDDING PHOTO スマートフォン	

対象学科	総合ウェディング科							
対象学年	1	学年	科目名	フォトコンテスト		担当名	内垣 和	
				講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位	30	時間
到達目標		ウェディングフォトの授業で身に付けた知識を活かし、ウェディングフォトを撮影、体験をする。 スマートフォン(またはカメラ)を使用した撮影、編集をし、フォトコンテストに応募をする。						
学習内容		Jフォトグラファー歴15年、ホテルや式場・ゲストハウスなどで撮影を行う講師が授業を行う。 ウェディングフォトの授業で身に付けた知識を活かし、実際に撮影した写真でフォトコンテストに応募をする。						
成績評価の方法と基準		出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題提出とする						
履修に当たっての留意点		筆記用具・パソコン(指定日)・スマートフォン・カメラ(所持している場合)を持参すること						
授業回数別教育内容								
回数	授業内容(予定)			使用教材			業以外での準備学習の有	
1	フォトコンテスト1日目 (1限目:オリエンテーション、ロケハン、ドレス選び)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
2	フォトコンテスト1日目 (2限目:ドレスコーディネート、ポージング練習)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
3	フォトコンテスト1日目 (3限目:ヘアメイクリハーサル、ドレスフィッティング練習、装飾)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
4	フォトコンテスト1日目 (4限目:片付け、工程表作成、まとめ)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
5	フォトコンテスト2日目 (1限目:着付、ヘアメイク)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
6	フォトコンテスト2日目 (2限目:撮影)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
7	フォトコンテスト2日目 (3限目:撮影)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
8	フォトコンテスト2日目 (4限目:撮影、片付け)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
9	フォトコンテスト3日目 (1限目:振り返り、画像編集、写真選び)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
10	フォトコンテスト3日目 (2限目:画像編集、写真選び)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
11	フォトコンテスト3日目 (3限目:作品発表)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
12	フォトコンテスト3日目 (4限目:作品発表、提出、総評)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
13	フォトコンテスト 振り返り (1限目)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
14	フォトコンテスト 振り返り (2限目)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				
15	フォトコンテスト 振り返り (3限目)			テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ				

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	宿泊サービス演習	担当名	丸毛 浩一
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	宿泊部門の基礎知識及び基本スキルを身に付け、ホテルマンとして宿泊サービス演習が系統だてて行える実務能力を発揮する事が出来る。
学習内容	ホテル業界で宿泊サービス並びに担当支配人、総支配人の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へ宿泊部門の実務を自信を持ってモチベーションを高め実演できる授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出入点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参 実技実習に備え毎週スーツ(制服)着用及びメモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びP

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	本授業概要を理解する 宿泊部門の基本姿勢を実践、理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	ホテルと宿泊部門の使命と役割及び業務の流れを理解する 組織及びスタッフに求められる資質・能力について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	ロビー・サービス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	ロビー・サービス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う I (ベルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
6	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う II (ベルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
7	フロントオフィス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
8	フロントオフィス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
9	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う I (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
10	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う II (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
11	ハウスキーピング業務について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
12	ロビーサービス～フロントサービス業務の実践を行う I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
13	ロビーサービス～フロントサービス業務の実践を行う II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
14	宿泊サービス前期授業を復習し、理解を深める	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科																										
対象学年	1 学年	科目名	ホテルウェディング		担当名	廣瀬 祐子																					
			講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間																				
到達目標	婚礼に携わるホテルスタッフとして、他部署やパートナー企業との役割や連携の重要性を理解し、他施設にはないホテルウェディングの魅力を知る																										
学習内容	ホテル、ゲストハウス、プロデュース会社にて勤務経験のある講師が、ホテルで実際に経験した内容を交えながら、他部署との上手な関わり方やホテルウェディングにしかない魅力をグループワークを通して学べる授業を実施。																										
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4. 0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3. 0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2. 0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1. 0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>出席不良</td><td></td></tr><tr><td>F</td><td>0. 0</td><td>59点以下（不合格）</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする						評価	GPA	合計点数	A	4. 0	90点～100点	B	3. 0	80点～89点	C	2. 0	70点～79点	D	1. 0	60点～69点	E	出席不良		F	0. 0	59点以下（不合格）
評価	GPA	合計点数																									
A	4. 0	90点～100点																									
B	3. 0	80点～89点																									
C	2. 0	70点～79点																									
D	1. 0	60点～69点																									
E	出席不良																										
F	0. 0	59点以下（不合格）																									
履修に当たっての留意点	筆記用具は毎回持参してください。																										

授業回数別教育内容

回数	授業内容（予定）	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・ホテルウェディングを学ぶ目的	筆記用具	
2	ホテルウェディングの歴史・特徴	PC	
3	ホテルにある部署・役割とパートナー企業		
4	ホテルウェディングで必要な専門知識・ホテル用語		
5	ホテルウェディングを求める新郎新婦像		
6	ホテルスタッフに必要な資質（グループディスカッション）		
7	ホテルスタッフに必要な資質（発表）		
8	ホテルウェディングの準備フロー・他施設との違い		
9	ホテルウェディングの業務①（プランナー新規接客解説）		
10	ホテルウェディングの業務②（新規接客練習）		
11	ホテルウェディングの業務③（新規接客ロールプレイング発表）		
12	ホテルウェディングの業務④（初回打合せ～最終打合せ解説）		
13	ホテルウェディングの業務⑤（結婚式本番施行解説）		
14	ホテルウェディングの魅力・まとめ		
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ホテルビジネス I
		講義・演習・実技・実習	担当名 一般社団法人IMSA
		単位/時間数	2単位 30時間

到達目標	学生がホテルビジネスの基礎知識と主要部門(宿泊・料飲・宴会・調理)の概要と関連業務を理解し、現場での基本的実務理解と業界全体像を描けるようにする。
学習内容	一流のホテル、レストランでサービス歴、指導歴が豊富で、受賞歴も多数ある講師が担当する。本授業では、ホテルビジネスの全体像を理解するとともに、宿泊・料飲・宴会・調理の各部門における基礎的な業務内容と役割を体系的に学習する。 ホテル産業の成り立ちや機能、各部門の業務フロー、部門間の連携について理解し、現場で求められる基本的な実務知識とホスピタリティの考え方を身につけることを目的とする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

日付	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション／ホテル業界概論	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
2	ホテルの歴史とホテル産業の発展	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
3	宿泊部門の業務理解①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
4	宿泊部門の業務理解②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
5	料飲部門の業務①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
6	料飲部門の業務②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
7	宴会部門の業務①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
8	宴会部門の業務②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
9	調理部門の業務①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
10	調理部門の業務②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
11	部門間連携とホテル全体オペレーション	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
12	品質管理・お客様満足度／クレーム対応	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
13	総合演習(模擬オペレーション／グループ発表)	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
14	振り返り／総合評価	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
15	課題まとめレポート提出 13回目	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	自宅学習

対象学科	総合ウェディング科			
対象学年	1 学年	科目名	ホテルビジネスⅡ	担当名
			講義・演習・実技・実習	丸毛 浩一
			単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ホテル全般に於ける知識を学習し、ホテルビジネス実務検定を取得する事に依り、ホテル研修や就職した際に業務における円滑なコミュニケーションと基本業務が行え、ホテリエとしてのプロフェッショナルな人材を育成する。
学習内容	ホテル業界で長きにわたり、担当支配人、総支配人及び本部経験の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へホテル実務全般基礎知識の習得と検定取得を自信を持って行える授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 授業概要の理解 第1章 ホテルの基礎 第1節 観光産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
2	第1章 ホテルの基礎 第2節 ホテル産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
3	第1章 ホテルの基礎 第3節 実務者として必要な基礎知識第4節 ホテル英語の基礎	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
4	第2章 宿泊部門 第1節 宿泊部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
5	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
6	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
7	第3章 料飲部門 第1節 料飲部門の概要 料飲部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 701選	当該授業の反復学習
8	第3章 第2節 料飲部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
9	第4章 宴会部門 第1節 宴会部門の概要 宴会部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
10	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
11	第5章 調理部門 第1節 調理部門の概要 調理部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
12	第5章 調理部門 第2節 調理部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
13	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
14	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科					
対象学年	1 学年	科目名	MAIHAMA ホスピタリティー	担当名	岡寛子/伊勢谷陽香	
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	1単位	15 時間

到達目標	TDLオフィシャルホテルのサービスマインドを体感し、顧客サービスにおけるマインドや方法を理解する。
学習内容	TDLオフィシャルホテルで自らサービスを受けることで、お客様に楽しんで頂けることとは何かを考える学習とする。 事前課題や終了後のレポートを必修とする。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S — 合格 U — 不合格 事前・事後レポート作成を必須とする
履修に当たっての留意点	事前にインフォメーションをおこなう。 パソコン持参のプログラムあり。 常に挨拶を心がけ、研修時に「うなづき」「あいづち」「アイコンタクト」を意識する。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
・TDLオフィシャルホテルでの見学やレストラン体験などを通じて現場のサービスを体験する。 ・スタッフからTDLオフィシャルホテルでのサービスマインドを学ぶ。	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	リゾートウェディング	講師名	餘吾 清司(業界)
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	リゾートウェディングの魅力を学ぶ。 リゾートウェディングのビジネスフローの理解。リゾートホテル・ウェディング研修参加の促進。
学習内容	キャリアセンター担当がコーディネート：沖縄リゾートウェディング協会加盟各企業を中心に各回授業へ協力を得て、ビジネスフローの理解、魅力を知り、沖縄県との就職協定・観光人材促進事業を通じ、研修、就職活動へとつなげていきます。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題レポートとする
履修に当たっての留意点	・リゾートウェディングを業界から学ぼう ・服装はスーツ着用

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	課題
1	オリエンテーション リゾートウェディングの特徴・魅力 業界の方より 沖縄リゾート就職フェア (企業：りっか沖縄・琉球新報開発)	筆記用具 パソコン	課題レポートあり 8点
2			
3	リゾートウェディングの特徴・魅力 業界の方より (企業：ノバレーゼ(オンザページ))	筆記用具 パソコン	課題レポートあり 8点
4			
5	リゾートウェディングの特徴・魅力 業界の方より (企業：グッドラック・コーポレーション)	筆記用具 パソコン	課題レポートあり 8点
6			
7	リゾートウェディングの特徴・魅力 業界の方より (企業：レック)	筆記用具 パソコン	課題レポートあり 9点
8			
9	リゾートウェディングの特徴・魅力 業界の方より (企業：グランベルホテル ルグラン軽井沢)	筆記用具 パソコン	課題レポートあり 9点
10			
11	リゾートウェディングの特徴・魅力 業界の方より (企業：ワタベウェディング・ニドムリゾート)	筆記用具 パソコン	課題レポートあり 9点
12			
13	リゾートウェディングの特徴・魅力 業界の方より (企業：ブライダルハウス チュチュ)	筆記用具 パソコン	課題レポートあり 9点
14			
15	リゾートウェディング振り返り 課題レポート 1コマ分		

対象学科	総合ウェディング科			
対象学年	1 学年	科目名	ドレススタイリストⅠ	担当名 福島圭子・坂田依智子
		講義	・演習・実技・実習	単位/時間数 2単位 60 時間

到達目標	婚礼衣装及び小物類を丁寧に扱うことができ、洋装の正しいフィッティングができる。使用した教材をもとの場所に戻すことができる
学習内容	ドレスブランドマシェリにて500組以上の婚礼にてウェディングスタイリストとして携わってきた教員と、ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にてウェディングスタイリストとして長きにわたり式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員が婚礼衣装の知識の講義と正しい技術を身に着けるためのフィッティング演習を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	スタイリストの仕事について ドレスルームの使い方	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
3,4	ドレスの知識～シルエット・ディテール～ ドレスの取り扱い方	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
5,6	ドレスの基礎知識～装飾・色・素材～ ドレスのフィッティング手順	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
7,8	ドレスの基礎知識～サイズ・小物～ ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
9,10	ドレス小物のフィッティング手順 ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
11,12	フォーマルウェアの基本 ブライダルインナーとは	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
13,14	新郎衣装の知識 新郎衣装のフィッティング手順	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
14,16	ブライダルインナーの必要性和フィッティング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
17,18	新郎衣装と小物のフィッティング メンズフォーマルのネクタイの知識とフィッティング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
19,20	ドレス小物の確認とフィッティング インナーをつけてドレスのフィッティング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
21,22	ウェディングドレス・小物のフィッティング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
23,24	カラードレス・小物のフィッティング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
25,26	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
27,28	ドレスとメンズ衣装の基礎知識の復讐 ドレスのフィッティングの復讐	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
29,30	定期試験	[テキスト]JWSAウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ドレススタイリストⅡ		担当名
	期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		坂田 依智子・福島圭子
			単位/時間数	4単位	60 時間

到達目標	衣装決定までの流れを習得し、トータルコーディネートを含めた衣装提案ができる。 婚礼和装の衣装選びを正しい知識でご案内ができる。
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ウェディングスタイリストとして長きに渡り式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員と、ドレスブランドマシェリにて、500組以上の挙式にスタイリストして携わった教員が、現場での経験を伝えながら指導する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験及び実技試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	衣装決定までの業務について	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
3.4	カウンセリングの手法 衣装選び、衣装のプレゼンテーションについて	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
5.6	ドレス小物のコーディネート／接客アテンドと花嫁様へのアドバイスの実践、ドレスフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
7.8	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング ドレスとメンズ衣装の組み合わせ	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
9.10	トータルコーディネートについて～イメージ	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
11.12	グループに分かれ、ネットの画像から「キュート(WD)」をトータルコーディネートし、コラージュ作成	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
13.14	「キュート(WD)」コーディネートのコメント作成、発表、意見交換、フィードバック	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習
15.16	新婦の和装について 打掛、引き振袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
17.18	新婦の和装について 文様を調べる	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
19.20	新婦の和装について 打掛のフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
21.22	新郎の和装について 紋服のたたみ方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
23.24	家紋、列席衣装の和装について 留袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
25.26	和装コーディネート、トレンドについて	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
27.28	定期試験に向けて総復習	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習
29.30	定期試験		授業内容に応じて自宅学習

対象学科	総合ウェディング科			
対象学年	1 学年	科目名	ドレスメンテナンス	担当名
		講義	演習・実技・実習	北沢 聡子
			単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ドレスメンテナンスの為の基本縫い、オーナメントの付け方を習得し、レンタルドレス・メンズフォーマルのメンテナンス技術の身に付ける																					
学習内容	ドレスデザイナー・コーディネーターとして10年以上の経験を持ち、上級洋裁講師でもある教員がドレスの作りから説明し、ドレスメンテナンスの基本を伝授する																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	毎回の持ち物を確認して忘れずに持参して授業に臨むこと																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	様々な衣裳店の形態を学び目標を確認する	テキスト 筆記用具 総裁用具	裁縫道具の点検
3,4	道具について理解し針と糸の扱いを行う 運針4つの基本縫いの意味を学ぶ	テキスト 裁縫道具 シーチング筆記用具	道具の使い分け名称を 復習
5,6	4つの基本縫い実習	素材見本 テキスト 裁縫道具 シーチング筆記用具	基本縫いをもう一回やっ てみる
7,8	ドレスのメンテナンスについて理解し実際にドレスを裏返 して作りを見る、ループの指編実習	テキスト 裁縫道具 シーチング筆記用具	素材や装飾について復 習
9,10	メンズフォーマルのメンテナンスについて理解しポケット チーフ・釦付け・スラックスの丈上げ実習	メンズフォーマル テキスト 裁縫道具 シーチング筆記用具	釦付けをやってみる
11,12	ホック・スナップ・パール・ビーズ・スパンコールの取り付け 実習	サテン・オーナメント一式 テキスト裁縫用具 シーチング筆記用具	ホック・スナップのゆるみ を付け直す
13,14	アイロンかけのコツを理解し、布目を考えてアイロン実習	アイロン テキスト 筆記用具 裁縫道具	自分のスーツにアイロン をかける
15,16	ドレスのお直しの箇所を理解し、直せるかどうかの判断と ピン打ち実習	ドレスピンクッション プライダルインナー テキスト 筆記用具 裁縫道具	ピンの扱いを復習する
17,18	ドレスの直し実習	ドレスピンクッション プライダルインナー テキスト 筆記用具 裁縫道具	サムシング4を言えるよう にしておく
19,20	ドレス・メンズフォーマルのサイズについて理解し、採寸実 習	メジャー プライダルインナー Tシャツ	採寸のポイントをおさ らする
21,22	しみ抜きと匂い取りの仕組みについて学ぶ	タオル 洗剤 ベンジン スチームアイロン 筆記用具	自分の服のしみ抜きを やってみる
23,24	芯について理解し特殊素材のチュールでオリジナルリボ ンを製作する	チュール テキスト 裁縫道具 オーナメント 筆記用具	小テキストの出来なかつ たところをつぶしておく
25,26	基本縫いを基にピンクッションを製作する	サテン フェルト オーナメント 綿 裁縫道具 筆記用具	提出物を仕上げておく
27,28	定期試験に向けての総復習		試験勉強
29,30	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	フラワーコーディネート	担当名	入江淳子
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	ブライダルにおける花との関わりや、基本的な花の知識を学びブライダル業界で働く事に対する意識を芽生えさせ、専門的知識を説明することができる。				
学習内容	フラワー装飾技能士、全米ブライダルコンサルタント協会認定プロフェッショナルウェディングフラワーデザイナーの資格をもち、フラワーの会社を経営してフロリストとして活躍している講師が担当する。 ブライダル業界に密接な関係性がある花について、専門用語・種類や特徴を理解し、学びを通じてモチベーションを高め、基礎知識についての講義と実技を実施する。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。＊忘れ物をすると作品が制				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	フラワーアレンジメントに用いる資材、フォーカルポイント・メカニカルフォーカルポイントについて理解する。水揚げ方法・生花の切り分け方、生けた後のケアを理解する。生花の切り分け方を実施(1人6～10本程度)	教科書・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
2	生花作品①「ラウンド」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フロリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
3	生花作品②メインテーブルフラワー「ホリゾンタル」作成の実施。	教科書・トレー・フロリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
4	花の分類・植物の生育、科の種類のそれぞれの特徴を理解する。アレンジに使われるグリーンについて理解する。生花作品③「リース」作成の実施。	教科書・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
5	四季の花や、花の季節行事を例示する。カラーコーディネートについて理解する。ワイヤリングとテーピング・リボンワークの扱い方を理解する。生花作品④「フレンチボウ(リボン)」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
6	コサージュについて理解する。生花作品⑤「3ポイントコサージュ」&「ヴァーティカル」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フロリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
7	ウェディングブーケに関わるオーダー制作方法・管理方法について述べる事ができる。花づくりをする前に肥料や植物の特徴を理解する。エディブルフラワーについて理解する。生花作品⑥「ブーケホルダーと巻き上げ&ブートニア」&「ラウンドブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
8	生花作品⑦「ラウンドブーケ」&「ティアドロップブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
9	生花作品⑧「ウェルカムボード」&「ファン」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
10	ギフトと花の関係性、リボンワーク・ラッピング(保水)について理解する。生花作品⑨「鉢のラッピング」作成の実施。	教科書・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
11	生花作品⑩「ナチュラルステムブーケ(花束)」&「スワッグ」作成の実施。	教科書・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
12	ドライフラワー・押し花の特徴、管理方法注意点を理解する。ブリザードフラワーの扱い方、特徴・種類管理方法注意点を理解する。ブリザードフラワー作品⑪「ブリザードフラワーアレンジメント」作成の実施。	教科書・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
13	基本デザインアレンジメント&ブーケ、アレンジメント用語の説明ができる。生花作品⑫「トリアンギュラー」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フロリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
14	生花作品⑬「試験練習ホリゾンタル」&「試験練習トリアンギュラー」作成の実施。	教科書・トレー・コンポートカップ&ベース・フロリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	
15	定期試験・EFD2級インストラクターライセンス筆記検定対策	教科書	

対象学科	総合ウエディング科			
対象学年	1 学年	科目名	フラワーデザイン	担当名 松浦麻子
		講義	・演習・実技・実習	単位/時間数 4単位 60 時間

到達目標	デザイン案作成、作品制作、プレゼンシート作成、プレゼンテーション、を通し、デザイン説明をして魅力を伝える提案ができる。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員がデザイン、ラフスケッチ→作品とプレゼンシート制作→プレゼンテーションを教える。デザイン実現と柔軟なプレゼンテーション力を習得する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	デザイン・作品・シート作成まで内容の関わりを活かし、機会を捉えるプレゼンテーションを行う

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	単体(花、資材、石など)のスケッチ、ゲストテーブルアレンジメントのデザインとラフスケッチ	筆記用具	なし
3,4	アレンジメントの制作 プレゼンシート材料の作成	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等) 筆記用具 持帰り袋	なし
5,6	用紙と着彩道具の解説 着彩 プレゼンシートカラーリングの基本	前回までに描いたイラスト 撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)	進捗により、データをPCへ取り込む等
7,8	プレゼンシートレイアウトの基本 プレゼンシート作成	ノートパソコン	なし
9,10	プレゼンテーション	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ	なし
11,12	近景のスケッチ、ウェルカムリースのデザインとラフスケッチ	筆記用具	なし
13,14	着彩 プレゼンシート①の作成 シミュレーション	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等) 筆記用具	なし
15,16	ウェルカムリース制作 プレゼンシート材料の作成	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)持帰り袋	進捗により、データをPCへ取り込む等
17,18	プレゼンシート②の作成 プレゼンテーション	ノートパソコン	なし
19,20	配置図の作成、受付装花のデザインとラフスケッチ	筆記用具	なし
21,22	着彩 プレゼンシート作成	筆記用具 ノートパソコン	なし
23,24	プレゼンシートの作成	ノートパソコン	なし
25,26	プレゼンシート作成 プレゼンテーション 試験対策	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ 筆記用具	なし
27,28	受付装花制作	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)持帰り袋	なし
29,30	定期試験	筆記用具	なし

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	パーソナルカラー検定A/B	担当名	岡永めぐみ
			講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	ブライダル業界においてどの分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に実際の現場においても活用できる「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身に着けることが出来る基礎知識を身に着ける				
学習内容	色彩におけるありとあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行って講師が色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識と共にパーソナルカラー検定の資格取得をする				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込まず、ノートを用意してください				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.7p.9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.14
5	5つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	1週刊ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.19
8	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.25
9	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.26
10	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	試験の復習
11	対比、反射の影響を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	授業で終わらなかったプリント
12	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.30.31
13	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.11
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	英会話演習	担当名	ILC
			講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝達する・相手が言っていることを理解する、などの基本的な英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する				
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信をもって対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う				
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習しておくこと。 また、授業後復習をし、より確実に身に着けることが望ましい				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	■コース紹介&ウォーミングアップゲーム Warming Up Game ■Can talk about travel 旅行について話すことが出来る ■Can discuss tours ツアーについて議論することが出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit1	
2	■Warming Up Game ■Can talk about jobs 仕事について話すことが出来る ■Can deal with check in at the airport 空港でチェックイン対応が出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit2&3-A	
3	■Warming Up Game ■Can understand directions at an airport 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations 入国審査の手続きについて話すことが出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit3-B&4	課題対応/Task-Prepared by ILC
4	■Can deal with lost items at an airport 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accomodation ホテルの空き状況についての問い合わせに対応ができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit5&6-A	
5	■Warming Up Game ■Can check guests in and out お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food ホテルの朝食やファーストフードについて話すことが出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit6-B&7	
6	■Warming Up Game ■Can explain sightseeing tours 観光ツアーについて説明できる ■Can assists guests with souvenir shoppng お客様が購入するときにサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit8&9	
7	■Warming Up Game ■Can assist customers with transportation needs 公共交通機関についてお客様にサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit10	
8	■Warming Up Game ■Can assist customers with problems and health issues トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit11	
9	■Warming Up Game ■Can explain transport options to the airport 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan 旅館の手続きを説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan1&3, 4&5	
10	■Warming Up Game ■Can explain Japanese meals at a Ryokan 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs 日本のお土産について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	
11	■Can buy bullet train tickets 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi タクシーを利用できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	
12	■Warming Up Game ■Can giive advice on sightseeing 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours 市内観光について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	
13	■Warming Up Game ■Can give recommendation for places to visit 観光のおすすめスポットを提案できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	
14	■Review of course materials-cosolidation through role play これまで学習した内容の復習ーロールプレイを通して理解を強化	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	
15	Final Test 定期試験		Test Prepared by ILC

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	韓国文化演習	担当名	JWSA 奥津 近藤
対象学期(Q)	前後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30時間

到達目標	韓国文化・トレンド・言語を学ぶとともに、韓国での観光、結婚式のかたちを理解し、今人気の韓国風フォトウェディングを創り出し、提案する力を身につけることができる
学習内容	・韓国出身のネイティブ講師が、自分の経験を基に教育する。日本で長年に渡り接客経験がある講師の実体験に基づく日本文化との違い・異文化での結婚式について興味・関心を持てる授業を実施する ・ウェディングフォトのベテラン講師が韓国の文化に沿いながら韓国風ウェディングフォトの撮り方を実践できる授業を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験、レポートとする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション・授業の内容の説明 韓国の概要(文化・民族特性など) 韓国のホテルについて (有名な観光地やホテルのおもてなしなど)	講師作成 プリントやPPT・映像など	
3,4	韓国のブライダルについて (韓国での結婚観や結婚式の特徴について) 韓国ブライダルについて (韓国と日本の結婚式の比較)	講師作成 プリントやPPT・映像など	
5,6	韓国語(日常会話) 韓国の民族衣装やアイテムについて (民族衣装「チマチヨゴリ」試着体験)	講師作成 プリントやPPT・映像など	
7,8	韓国風ウェディングフォトの概要説明 撮影会に向けて準備をはじめる① コンセプトシートの作成 韓国風ウェディングのヘアメイクやコスメについて		
9,10	韓国風ウェディングフォトの準備② (ウェディングフォトで着たいドレスを探す) コンセプトシートの作成		
11,12	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
13,14	韓国風ウェディングフォト撮影会	※外部スタジオで開催予定	
15	定期試験	1～3回目の授業を中心&ウェディングフォトのコンセプトシート提出と振り返りを記入する内容	

対象学科	総合ウェディング科			
対象学年	1 学年	科目名	マーケティングA/B	担当名 長谷川円香
		講義	・演習・実技・実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界のマーケティングの基礎知識を得ることで効果的な集客に対する適切な広報活動方法を身に着ける。サービスの魅力をお客様向けに表現することを目指す
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手掛ける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何となくでも受講可能な入門中の入門編。楽しく学ぶマーケティングの基礎
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること(はさみ・のりなどを使用する場合は事前に告知) スマートフォンまたはタブレットPCを準備して情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P/4C】	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナを知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	共感を呼ぶコンテンツ作り	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	PDCA体験や人の心理を知るワーク	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	マーケティングを活かしてブライダル広報記事を作る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	マーケティングを活かしてブライダル広報記事を作る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	マーケティングを活かしてブライダル広報記事を作る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	マーケティングを活かしてブライダル広報記事を作る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	総合ウエディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ブライダルジュエリーB	担当名	北沢聡子
			講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30時間

到達目標	婚礼に使われるジュエリーとアクセサリーについて例示し、語彙力を付け宝石についての知識と興味を持って美しいイメージを顧客に持ってもらえるような接客力を発揮し、知識を持ってジュエリーショップに就職も視野に入れる
学習内容	最大手のメーカーでドレスのデザイナー・関連小物の企画、ドレスコーディネーターを勤めてきた講師が長年にわたり収集した世界中の王家・名門貴族・セレブリティのジュエリー画像、世界の流行を変えたジュエリー、ハイブランドの特徴や日本のブランドの画像をふんだんに使いながらジュエリーの世界を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノートを取りなるべく本物を見るように提示された場所に行ってみる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルジュエリーの種類と宝石の知識の重要性	講師資料	自分の誕生石を調べる
2	フォーマルウェアと宝石、欧米諸国と日本の違い	講師資料	授業復習
3	誕生石について学びながら基本知識を深める	講師資料	授業復習
4	ダイヤモンドについて	講師資料	婚約指輪の理想を考える
5	婚約指輪・結婚指輪について	講師資料	結婚指輪の理想を考える
6	5大ジュエラーとグランサンク	講師資料	ヴァンドーム広場を検索する
7	世界のハイブランドと日本のブランド	講師資料	授業復習
8	世界のティアラ・ティアラを着ける効果	講師資料	授業復習
9	パリュールについて	講師資料	授業復習
10	ブライダルジュエリーをデザインしてみよう	講師資料	授業復習
11	日本が世界に誇る真珠について	講師資料	授業復習
12	ドレスにブライダルジュエリーを合わせてみよう	ブライダルインナー	授業復習
13	模造宝石の進化と市場	講師資料	授業復習
14	最近のブライダルジュエリーの傾向	講師資料	試験勉強
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	オフィスワーク・マナー講座B	担当名	田中 絵巳
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	「ブライダル業界の社会人1年目に必要となる、敬語・日本のしきたり・マナーの基礎知識を学び、その項目に対し相談に乗れるようになること」 ①認知:敬語・日本のしきたり・マナーの基礎を理解し、説明できる ②感情:「マナーを体現できる存在」と思える自己効力感がある ③行動:マナーが必要な場面のケーススタディを個人ワーク・グループワークを通じて考え・話し合う ④対人関係:マナーの相談に乗れる人材になる
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員が実際に現場で必要と感じたマナーの基礎知識を【敬語講義→知識解説→ケーススタディ→ワーク→解説】の順で教える。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	服装:私服 持ち物:パソコン使用 コマによって筆記用具・ワークに必要なものを持参(前週にも案内)

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【オリエンテーション】 正しい敬語の使い方	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
2	【ブライダルマナー①】 招待状	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
3	【ブライダルマナー②】 受付/服装	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
4	【ブライダルマナー③】 ブライダルギフト/熨斗	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
5	【ブライダルマナー④】 席次表/肩書き	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
6	【お祝いのマナー】 ご祝儀/賀寿/結婚記念	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
7	【お悔やみマナー】 葬儀、通夜	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
8	【食事のマナー①】 和食(美しい箸使い/椀と器)	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
9	【食事のマナー②】 フォーマルな席でのマナー	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
10	【社会人マナー①】 準備/出迎え/お茶の出し方/見送り	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
11	【社会人マナー②】 訪問/手土産	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
12	【ビジネスマナー①】 メール・手紙・書類	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
13	【ビジネスマナー②】 ビジネスシーンの席次	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
14	【ビジネスマナー③】 名刺交換/ビジネス用語	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
15	総復習 振り返り テスト 60点分 定期試験	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習

対象学科	総合ウエディング科	
対象学年	1 学年	科目名
		ブライダルブーケ
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
	担当名	松浦麻子
	単位/時間数	2単位 60 時間

到達目標	ブーケ、ヘッドレス等作成の実技を通し得る知識を自分の専門分野に活用できる。各ブーケスタイルの特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応等を説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。☑
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。各専門分野に役立つ着眼点で、花材、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。☑
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	生花を使う場合は水揚げ作業あり/毎回の授業に振り返り有り/作成物毎回持帰り☑

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	授業オリエンテーション【生花のクラッチブーケ:縦長】 取扱いと作り方説明 <u>ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3,4	【生花のクラッチブーケ:丸形】 現場取扱いと水揚げ説明 <u>水揚げ・ブーケ・ヘアード作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5,6	【生花の花冠】 注意点説明 <u>花冠作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7,8	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 ブーケホルダー使用 取扱説明 <u>ブーケ(ブートニア)作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9,10	【生花のラウンドブーケ】ブーケホルダー使用 生花、造花、ドライ比較解説 <u>ブーケ(ブートニア)作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11,12	【生花のティアドロップブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 <u>水揚げ・作成・リボン取付</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13,14	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ】ブーケホルダー使用 ホルダー等のメリットデメリット解説 <u>作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15,16	【生花のキャスケードブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 <u>水揚げ・ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
17,18	【アーティフィシャルフラワー、生花のブートニア】 作り方説明 <u>生花水揚げ・ブートニア作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
19,20	【生花のボールブーケ】 作り方、注意点説明 <u>水揚げ・デザイン・ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
21,22	【生花のバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 <u>ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
23,24	【生花とリボンのブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 <u>ブーケ作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
25,26	【生花のリングブーケ】 作り方説明 <u>ブーケデザイン・作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
27,28	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 <u>ブーケデザイン・作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
29,30	定期試験:実技	持ち帰り用袋	なし

対象学科	総合ウエディング科				
対象学年	1 学年	科目名	アテンド・キャプテン・司会実践B	担当名	唐橋 誠治
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『婚礼におけるアテンド・キャプテンの動きと司会の役割と技術について学ぶ』 施行スタッフとして、事前準備や当日運営に必要な知識と技術を学び、結婚披露宴の1日を組み立て運営出来る力を身に付けさせる。特にHWプログラムを検討する学生は実際に使用する第二校舎3F(リュミエール)にて当日の運営に役立せる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(アテンダー・CAP・司会など)の動き方を実際にHWが施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】受付・クロークについて 【動画】過去のハウスウェディング、サービス全般1日の流れ お客様の動き・スタッフ導線を確認	プリント受付編①	
3,4	【座学】ホワイエでの振る舞い、食前酒やドリンクについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯①(講師主導)	プリントホワイエ編②	
5,6	【座学】料理アレルギーについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯②(学生主導)	プリント料理アレルギー③	
7,8	【座学】披露宴スタートからお色直しまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀①(講師主導)	プリント披露宴スタートから④	
9,10	【座学】お色直しからお見送りまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀②(学生主導)	プリント料理・アレルギー⑤	
11,12	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)① 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)		
13,14	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)② 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)		
15,16	【座学】役割決定、アテンダー、キャプテン、司会等 Aチームリハ披露宴前半部分		
17,18	Bチームリハ披露宴前半部分		
19,20	Aチームリハ披露宴後半部分		
21,22	Bチームリハ披露宴後半部分		
23,24	振り返り、準備		
25,26	模擬披露宴本番(Aチーム)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
27,28	模擬披露宴本番(Bチーム)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
29,30	定期試験(座学で学んだ内容)		

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	フォトムービー制作実践	科目名	近藤 仁
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		4単位

到達目標	フォト・ムービーの基礎を学び実践することで楽しさを知る
学習内容	写真撮影、ビデオ撮影に必要な基礎知識、技術について講義・演習を行います。 フォト・ムービーの本質を学び、楽しさを知っていただきます。 ブライダル撮影を中心に現役フォトグラファーとして活動中の講師が担当する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題提出とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション＆「撮るって楽しい」を体感	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
3,4	カメラの基本操作を知ろう(写真編)	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
5,6	構図で写真が変わる！	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
7,8	光を味方につけよう	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
9,10	写真編集の基本(楽しさ重視)	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
11,12	ムービーって何が面白い？	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
13,14	ムービー撮影実践①(撮り方)	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
15,16	ムービー撮影実践②(つなぎを意識する)	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
17,18	ムービー編集の基本	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
19,20	音と映像の関係	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
21,22	「伝わる」って何？	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
23,24	自由制作企画を考えよう	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
25,26	自由制作(撮影・編集)	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
27,28	仕上げ＆発表準備	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	
29,30	作品発表会＆ふりかえり	パソコン・カメラ(スマホ)・筆記用具	

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ホテル宿泊客室実習	担当名	岡覚子/伊勢谷陽香
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	・ホテルの宿泊部門やホテルの働き方を理解できる ・お客様としてのホテルサービスの魅力を理解する。
学習内容	実際のホテルの客室で宿泊サービス演習授業を行い、宿泊部門やホテルの働き方を学ぶ。 ホテルサービスの魅力を感じることができる。 ハウスキーピングなどの宿泊部門の仕事について学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S — 合格 U — 不合格 事前・事後レポート作成を必須とする
履修に当たっての留意点	全てのスタッフに対して感謝の気持ちを持って接しましょう。 常に挨拶を心がけること。 研修時は「うなずき」「あいづち」「アイコンタクト」を忘れずに！ 今回訪問するホテルのことをホームページなどで調べて最低限の知識を持っていけるようにしましょう！

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
・ホテルに実際に宿泊し、実際のサービスを体験し、宿泊者視点でホテルサービスについて学び、考える。 ・ホテルに対して、宿泊者の視点を踏まえてサービスの提案を考える。 ・ハウスキーピングなどを実際の宿泊体験で考察する。	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科			
対象学年	1 学年	科目名	模擬挙式発表会	担当名 岡覚子/伊勢谷陽香
	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	これまで学習してきた”結婚式”について、模擬挙式を行うことで実際にどのような流れで挙式が行われるのか実践する。 その中で、新郎新婦の視点だけではなく、親御様や列席者の視点、各スタッフとしての視点、について考えを深め、「いい結婚式」にするための要素を見出す。
学習内容	基本の動きについてより繊細に理解実践できるようになると同時に、特に挙式に関わる”人”についてフォーカスした案内や動きを考える。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋事前レポート提出30点、振り返りレポート30点、計100点満点で評価する。 評価 GPA 合計点数 A — 4.0 90点～100点 B — 3.0 80点～89点 C — 2.0 70点～79点 D — 1.0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0.0 59点以下（不合格）
履修に当たっての留意点	筆記用具

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1～4	オリエンテーション・模擬挙式について 挙式オペレーション確認 チーム分け・役割決め	筆記用具	
5～8	ドレス選定・動き検討・チャペル実践ローテーション 振り返りと模擬挙式の目標設定	筆記用具	役割決め 動きの確認・練習 (必要に応じて)
9～12	ドレス着付け・動き検討・チャペル実践ローテーション 模擬挙式リハーサル 提出レポート準備	筆記用具	動きの確認・練習 (必要に応じて)
13～15	模擬挙式最終準備調整 模擬挙式実践 振り返り・レポート提出	筆記用具	動きの確認・練習 (必要に応じて)

対象学科	総合ウェディング科	
対象学年	1 学年	科目名
		現場実習 I
		講義 ・ 演習 ・ 実技 実習
		担当名
		岡寛子/伊勢谷陽香
		単位/時間数
		6単位 180 時間

到達目標	職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守ることだけではなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。
学習内容	現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S — 合格 U — 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
実習では目標を設定して臨むことが必要です。目標としては以下のような視点が挙げられます。 個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。 ①自分の性格の特長に関心を持ち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方角・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わることができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる	実習先の事前理解

対象学科	総合ウェディング科	
対象学年	1 学年	科目名
		導入研修Ⅰ・Ⅱ 講義 演習 実技 実習
		担当名 伊勢谷陽香/岡覚子 単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	・目指す将来像を明確にする。 ・学生生活や実習活動、就職活動を円滑にスタートさせ、学校での学びを理解する。 ・相互支援的環境をつくる。
学習内容	これからの学習について理解を深めるため、体験型の授業を中心にウェディング分野の学びの楽しさや重要性を理解する。また、興味のある授業を見つけ、選択科目を選ぶヒントにできる。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格
履修に当たっての留意点	事前にインフォメーションをおこなう。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
・アイスブレイク ・ウェディング業界の職種・仕事理解 ・就職活動・現場実習について	授業内容に応じて 自宅学習
・ウェディング・ホテル業界の授業を受ける ・自分の興味のある授業を見つけ、選択科目を選ぶヒントにできる - ゲストハウス - ホテル - フラワー - セルフヘアメイク - ドレススタイリスト	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科					
対象学年	1 学年	科目名	国際教育	担当名	伊勢谷陽香/岡寛子	
		講義	演習・実技・実習	単位/時間数	1単位	15 時間

到達目標	国際社会で求められる「英語コミュニケーション」と、日本人としてのアイデンティティである「日本の文化」をテーマとして本物に触れ、体感することを通して、将来のウェディング・ホテル業界で活かせる国際的な視野と新たな視点を培う。
学習内容	学外の会場や施設等で体験型学習を実施する。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格
履修に当たっての留意点	事前にインフォメーションをおこなう。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
・英語コミュニケーション イングリッシュスピーカーと英語でコミュニケーション(チームに分かれて実施) アトラクションエリアで英語コミュニケーションエアポートゾーンを体験する。 アクティブイマージョンではSDGsをテーマに英語を使って議論する。 事前課題の提出と参加後の事後レポート	授業内容に応じて 自宅学習
・和食文化理解 会席作法を通じて日本文化を理解する。 事前課題の提出と参加後の事後レポート	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	キャリア教育講座I
		講義・演習・実技・実習	担当名 田中絵巳・伊勢谷陽香
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	自ら考え行動できる力を身につける。ウェディング・ホテル業界で働くことの基礎を身につけ、業界の魅力を知る。また、社会人として必要なビジネスマナーを学習し、仕事への基本姿勢、取り組み方、意識を向上し、実践できるようになる。
学習内容	業界研究、社会人基礎力、自己分析などをおこない、キャリア教育の基礎となる授業をおこなう。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験はレポートとする
履修に当たっての留意点	服装:私服・スーツスタイル ※コマによって違うので確認すること 使用教材を確認し、必要なものを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	学習の準備など
1	導入研修振り返り	パソコン持参	
2	ウェディング業界の職種理解・現場実習について	パソコン持参	
3	身だしなみ・履歴書の書き方	パソコン持参	
4	扶養控除について(SMBC)	パソコン持参	
5	業界研究(会場見学 事前学習)	パソコン持参	
6	後期履修科目登録について	パソコン持参	
7	業界研究①(ウェディング・ホテルの就職活動の流れ／企業研究)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
8	業界研究②(ウェディング・ホテル業界の職種理解)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
9	課外授業(山岸先生)	パソコン持参	
10	業界研究③(ウェディング・ホテル業界の主要企業理解)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
11	社会人基礎力①	Hand-book of Life Style	
12	社会人基礎力②	Hand-book of Life Style	
13	自己分析①(自己PR作成)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
14	自己分析②(就職活動の軸)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
15	振り返り	パソコン持参	

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	キャリア教育講座II	担当名	田中絵巳・伊勢谷陽香
			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	自ら考え行動できる力を身につける。ウェディング・ホテル業界で働くことの基礎を身につけ、業界の魅力を知る。また、社会人として必要なビジネスマナーを学習し、仕事への基本姿勢、取り組み方、意識を向上し、実践できるようになる。
学習内容	業界研究、ビジネスマナー、就職対策を通じて、キャリア教育の基礎となる授業をおこなう。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験はレポートとする
履修に当たっての留意点	服装:私服・スーツスタイル ※コマによって違うので確認すること 使用教材を確認し、必要なものを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	学習の準備など
1	ディズニー研修	私服・パソコン持参	
2	ディズニー研修振り返り	私服・パソコン持参	
3	キャリア形成(職種理解・進級科目)	私服・パソコン持参	
4	ビジネスマナーを身につける①(就職活動に関するマナー)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
5	ビジネスマナーを身につける②(書類作成マナー・メールマナー)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
6	応募書類作成講座(求人票の見方と企業研究)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
7	2年次 進級科目オリエンテーション	私服・パソコン持参	
8	応募書類作成講座(履歴書の書き方復習・学生時代に力を入れたこと)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
9	企業研究講座(企業研究を活かして志望動機を作成する)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
10	選考対策講座(グループディスカッション対策)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
11	2年次 履修登録説明	私服・パソコン持参	
12	2年次 履修登録	私服・パソコン持参	
13	就職活動理解講座(合同説明会参加マナーと注意点について)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
14	ホテル業界フェア事前準備(参加企業の企業分析)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
15	ウェディング業界フェア事前準備(参加企業の企業分析)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習